

小さなもの

不思議なカタチ



展示解説

「まいぶん・バック
ヤードツアー」(8/19
~8/30の平日開催)で
展示解説を行います。

令和
元年

7月13日(土)~9月1日(日)

入場無料・期間中無休

石川県埋蔵文化財センター

お問合わせ | 〒920-1336 金沢市中戸町18-1
☎076-229-4477

開館時間 | 午前9時~午後5時【入館は午後4時30分まで】

交通案内 | 北鉄バス 東部車庫/金沢学院大学/駒帰/上辰巳 行き
末停留所下車徒歩15分

主催 | 石川県教育委員会
公益財団法人 石川県埋蔵文化財センター



遺跡から出土するものには、よく見る土器や石器とは異なるとても小さなもの、使い方もわからない不思議な形の変ったものなどが見られます。

小さな勾玉や管玉は、アクセサリーとしてだけではなく宝ものとしても大切にされました。当時の人々が、原材料の入手や製品のやりとりを通じて他地域と活発な交流をしていたことがわかります。

まつりごとに使われるミニチュア土器や、人や動物、武器、船などは人々の思いが伝わってきます。

江戸時代に作られたミニチュアの炊事道具やおもちゃ、箱庭道具などは当時の人々にとってどんな意味があったのか。考古学者たちも首をかしげるような不思議な形の出土品は一体何に使われたのか。小さなもの、不思議な形の出土品を紹介しながら、観覧の皆さんと一緒に考えていきます。



ヒスイ大珠^{たいしゆ}
(金沢市北塚遺跡)



メノウ勾玉^{まがたま}
(羽咋市寺家遺跡)



おもり
錘(陶製品)
(羽咋市四柳白山下遺跡)



馬形(木製品)
(七尾市小島西遺跡)



たいこばし
太鼓橋
(金沢市木ノ新保遺跡)



いがた
鑄型
ひとつほり
(小松市一針B遺跡)



手づくね土器
(小松市千代・能美遺跡)

主な展示品

資料名	遺跡名	所在地	時代
鳥形(土器の装飾部分)	宮竹うっしょやまB遺跡 ^{みやたけ}	能美市	縄文時代
土偶 ^{どぐう}	米泉遺跡 ^{よないずみ}	金沢市	縄文時代
分銅形土製品 ^{ぶんどうがた}	東的場タケノハナ遺跡 ^{ひがしまとば}	羽咋市	弥生時代
鍬形石未成品 ^{くわがたいし}	富塚遺跡 ^{とみづか}	加賀市	古墳時代
舟形(木製品) ^{ふねがた}	小島西遺跡 ^{こじまにし}	七尾市	奈良時代
鳥形瓶(須恵器) ^{とりがたへい}	上徳山谷山西谷窯跡 ^{かみとくさんたにやまにしに かまあと}	能美市	奈良・平安時代
温石 ^{おんじやく}	北出遺跡 ^{きたで}	白山市	鎌倉時代
犬形陶器(白磁)	金沢城下町遺跡 ^{かざらぎのまち} (東兼六町5番地区)	金沢市	江戸時代



ヒスイ勾玉・碧玉管玉^{まがたま}
(小松市八日市地方遺跡)